

# 事務事業評価シート

評価年度	平成30年度	対象事業年度	平成29年度
------	--------	--------	--------

所属・担当者氏名	環境建設部 環境衛生課 環境衛生係 杉本佑樹	評価責任者 (担当課長)	環境衛生課長 石田 寛
----------	------------------------	-----------------	-------------

## 1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	環境教育事業(自然観察)		② 整理番号	04010103-001
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	安心・安全の美しいまちづくり		
	節	生活環境の整備・充実		
	項	都市環境の保全・美化の推進		
	号	環境教育の充実		
④ 関連する個別計画	なし		⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	なし			

## 2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	環境教育の充実を図り、大和高田市の自然を子どもたちに学んでもらうため。
② 対象 (誰・何を対象として)	小学生とその保護者
③ 手段 (どのようなやり方で)	8月に野鳥とセミの観察を行う事業を計画
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	広報で募集したが、応募者がなく、中止となった。

## 3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
① 直接事業費	23	0	30	0	(予算) 23
② 概算人件費	(0.02) 170	(0.00) 0	(0.02) 170	(0.01) 59	
一般職員(職員数)	(0.02) 170	(0.00) 0	(0.02) 170	(0.01) 59	
嘱託職員(職員数)					
臨時職員(職員数)					
③ 合計(①+②)	193	0	200	59	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					
⑤ 一般財源(③-④)	193	0	200	59	

#### 4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	① 開催回数		1 回	0 回	1 回	0 回
	②					
成果指標	① 参加者数		28 名	0 名	11 名	0 名
	②					
効率指標	① 参加者1人当りのコスト	事業費/参加者数	821 円	0 円	2,727 円	0 円
	② 参加者1人当りのコスト	一般財源/参加者数	6,893 円	0 円	18,182 円	- 円

#### 5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	現在の中心層である親世代と未来を担う層である子供と一緒に環境問題についてより身近に考えてもらうきっかけとなる。今後一層地球全体で取り組むべき問題であり、市が中心となって呼びかけ、一人ひとりが当事者として行動する必要がある。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	B	参加率が低いので、学校に案内を出し周知を高めると同時に、興味を持ってもらえそうな内容に変更する等改善の余地はある。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	-	-

#### 6. 今後の方向性

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
B	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他 平成27年度リバーウォッチングは、図書館が独自の事業で開催。環境衛生課では永年、行ってきた事業ではあるが、川及び水辺周辺以外への環境問題にも目を向け、新たな環境問題の学び方を検討した結果、大谷山自然公園、築山公園周辺の自然観察に変更した。しかし、広報で募集するも応募者がなく、内容だけでなく、今後、参加者をどのように集めるのかも検討する必要がある。

#### 7. 2次評価

A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)